

施設名称	まつがや高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
------	-------------------	----------	---------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	高齢者部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、在宅介護支援センター(2)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕、障害者部門〔知的障害者更生施設(2)、知的障害者授産施設(4)、身体障害者授産施設(3)、地域活動支援センター(1)、福祉センター(1)〕、その他部門〔措置施設(3)〕
②類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設
③経営状況	(20 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 4,342,529,007 円、歳出 4,373,629,579 円、収支差額▲31,100,572 円 [公営事業特別会計]歳入 20,769,635 円、歳出 19,811,860 円、収支差額 957,775 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区松が谷 4-4-3
②設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
③利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
④開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）8時30分～17時15分
⑤規模	延べ床面積 4,671 m ² のうち 1,306 m ² ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち2階の一部
⑥人員体制	17 名(内訳)施設長(1)、次長(1)、事務員(1)、生活相談員(2)、看護師(2)、介護職員(常 11, 非 8)

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	①通所介護サービス（送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等）、②介護予防通所介護サービス（送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等）（定員 35 名）
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等

20 年度延べ利用人数

単位時間(一般)	通所介護 6~8	通所介護 4~6	通所介護 3~4	通所介護 2~3	介護予防通所 介護	計	利用率(%)
前期	3,205	325	54	0	1,260	4,844	88.2%
後期	3,267	278	52	0	1,101	4,698	87.7%
計	6,472	603	106	0	2,361	9,542	87.9%

5. 予算決算の推移 (単位：円)

		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委託料	42,939,000	39,379,000	23,840,000	22,800,000	14,280,000
	料金収入等	56,844,000	69,022,000	80,025,000	79,884,000	86,973,000
	管理経費	99,783,000	108,401,000	103,865,000	102,684,000	101,253,000
決 算	委託料	31,744,634	32,401,202	23,840,000	22,800,000	
	料金収入等	62,265,498	81,063,370	86,645,509	95,745,533	
	管理経費	96,446,661	103,585,106	99,529,206	114,545,533	
	収 支	-2,436,529	9,879,466	10,956,303	4,000,000	

6. 指標

指標名称	単位	目標値(22年度)	19 年度	20 年度	21 年度
利用率（一般デイ）	%	85.0	78.3	87.9	

7. 評価項目		3 : 協定等の水準を上回っている。 2 : おおむね協定等の水準どおりである。 1 : 協定等の水準を下回っている。 — : 評価対象外項目	
評価の観点	評価項目		
①事業の運営 平均 [2.1]	(1) 施設の目的達成 [3] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [—] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [1] (3) 利用者数の目標達成 [3]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費削減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]	
8. 評価		A+ (良好) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善) : 協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A	利用者からの利用回数増への要望に対応するとともに、既存利用者からの紹介により、新規の利用者が増え、利用率が大幅に上昇した。	
②施設の維持管理	A	大規模な不具合の発生等もなく、適切に管理されている。	
③利用者の満足度	A-	利用者の満足度は概ね高いが、苦情や要望への対応と報告に一部遅れが見られた。	
④歳入歳出	A	利用者数が伸びたことにより、介護報酬による収入が当初予算を上回った。	
⑤総合評価	A-	利用者数を大幅に伸ばしたこともあり、おおむね適切なサービス提供がなされているが、苦情や要望への対応に遅れが見られた。	
9. 課題への対応等			
<p>利用者数を大幅に伸ばし、介護報酬も当初予算を大幅に上回るなど、経営努力のあとがうかがえる。施設管理も適切に実施しており、おおむね良好な事業運営がなされている。</p> <p>苦情等に対する対応及び報告に遅れが見られた点については、改善点を指摘後、指導により改善策を講じている。今後は、効率的な経営に向け、更なる委託料の見直しなど経費削減の工夫を継続していく必要がある。</p>			